

新川園
様打

了りておぼやかし

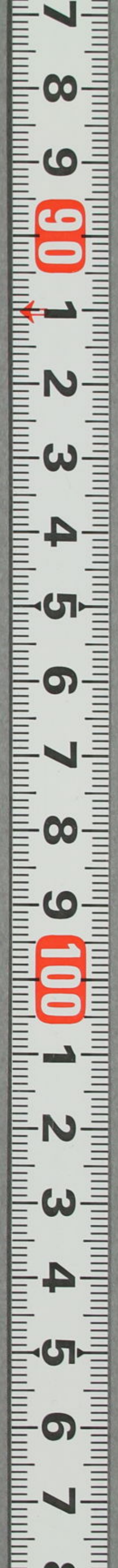
二十之

おぼやかし

新川
上

新川園

13
3836
24



一〇三ノ一ノ一ノ一



上



信文庫五拾之拾

徳市州三拾

門 13
號 3836
卷 24

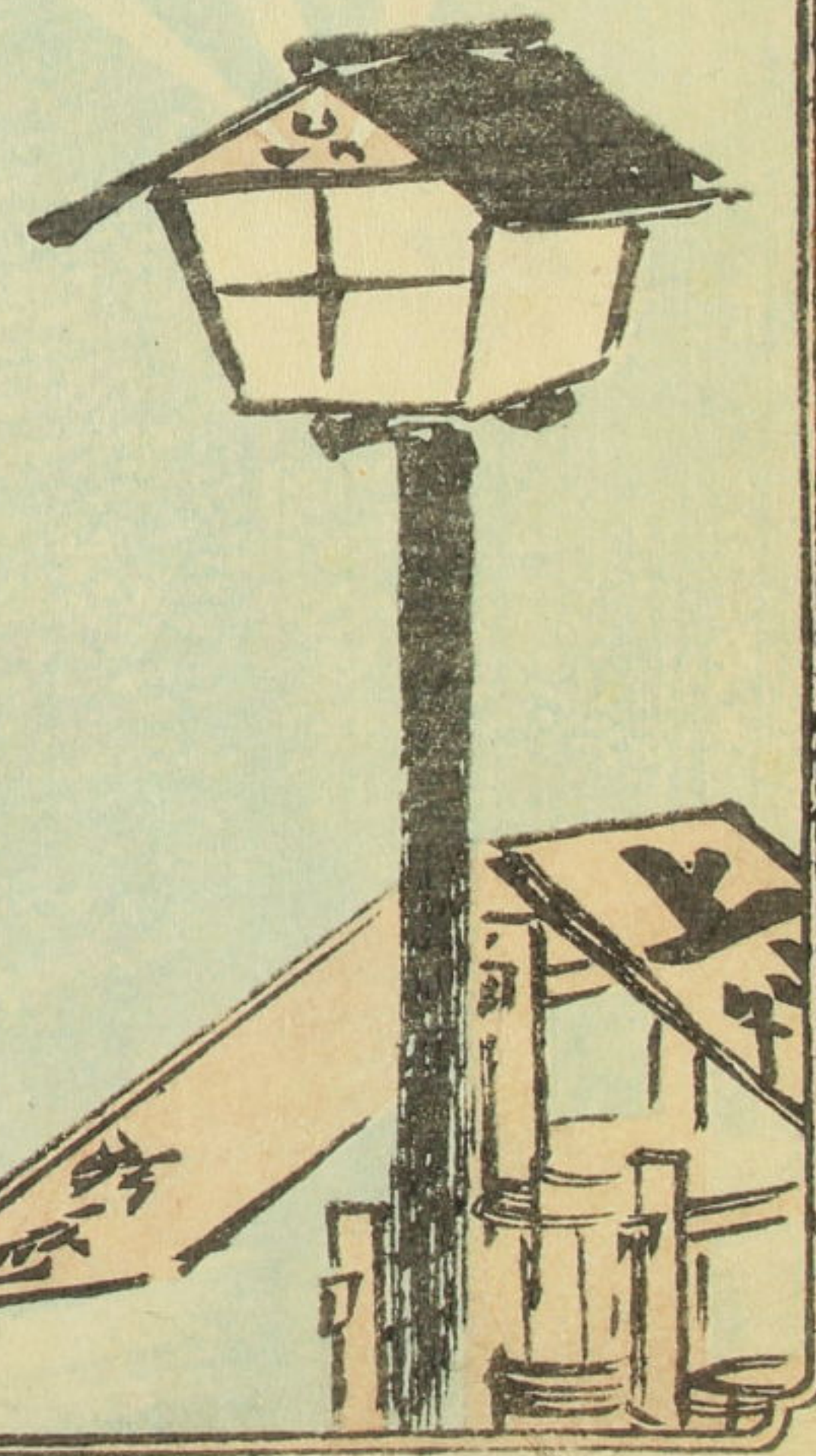
万葉集卷之二十四

万葉集

五十二卷 上卷

新刊同文
御札書

子のんち



上品を板

釋迦八相倭文庫第五十三編序

夫速疾立驗摩醯首羅說阿尾奢經引翻名也迦樓羅の
可也也小秃華那羅延の香醉あはる香商人り擬た敷
摩訶訶半陀の一段の經顯を狂言ややく樂特をくも益休あは
中途般陀の説小有と善見物の律ぎの増一阿含の欠く見ハ
眼の徳見附柱世界の舞臺を覚の時凡小智識の比掛木火
土金水働く囉子万々くてもつらやあはる(七)の替是五子の地獄へ
行と支るのやあはらうと例の能あが序の舞を云更あはる

文久四年
甲子春

南花堂 万真亭應賀誌



倭文庫五十三



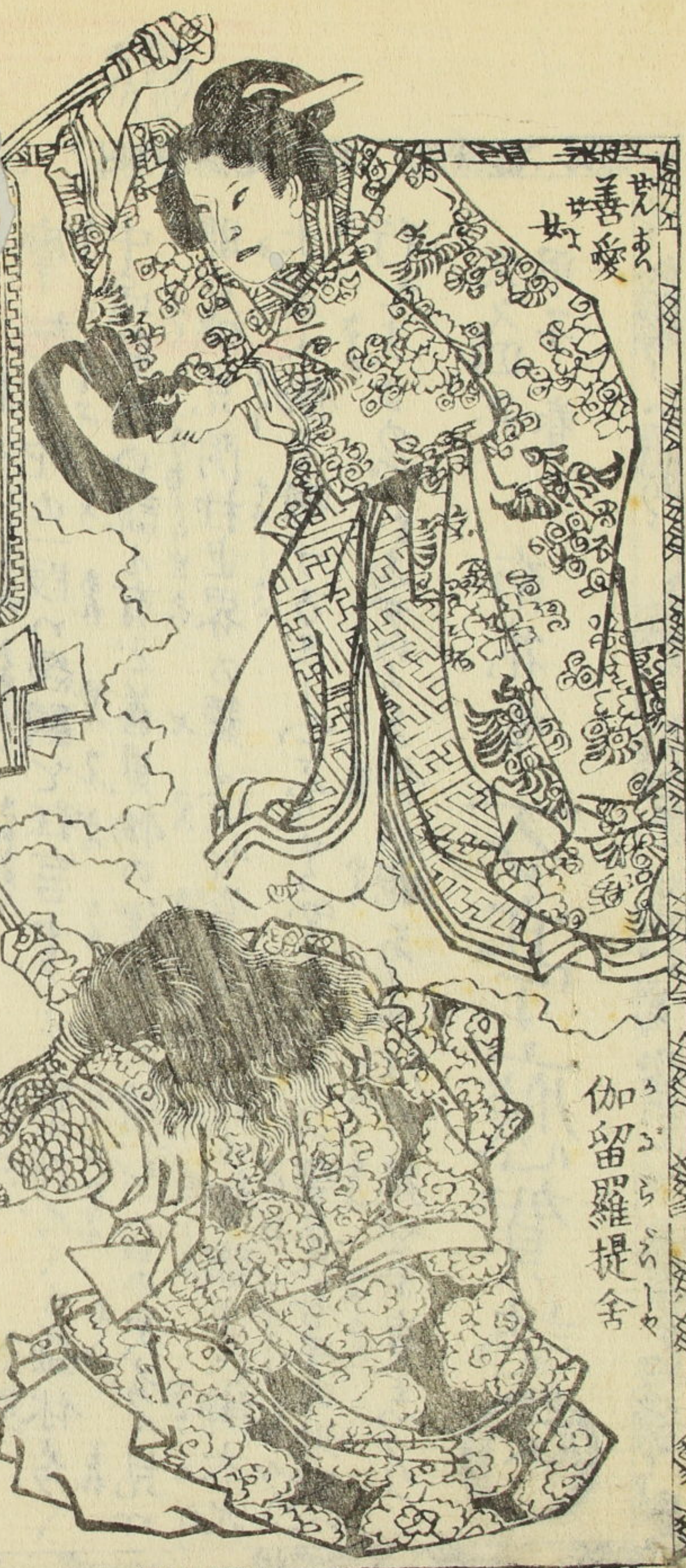
灸
医
竜王女

伊勢那國の
大姫
寄

提婆達多

五十二

伽留羅提舍提婆の
命を以て阿尾奢の
法を行ひ摩醯首羅
を祈りて善愛女を



善愛
女

伽留羅提舍

作



炭焼の夫

樂特 千金の
栴檀香を
炭ふゆく
箒と
易

增一阿含經曰
爾時樂特告身朱利
樂特曰若不能持戒者還作
白衣時朱利樂特聞此語已
便詣祇桓精舍門外立而墮淚
善見律曰

兄摩訶般陀心自念此人
於佛法無當遺還家
即語周羅般陀言
今鈍根即牽袂
張驅令出門於門外啼
哭不欲還家等

富留那著閣尼と
出摩加羅山麓の
於轆曇弥尼の
造罪の靈を度
又摩訶般陀の智戒と
進て祇桓精舍へ赴く



富留那尊者

樂特
周羅

漁人靈

Handwritten text in the upper right corner of the right page, including characters like 'あはれ' and 'あはれ'.

Handwritten text in the middle right section of the right page, including characters like 'あはれ' and 'あはれ'.

Handwritten text in the upper left corner of the right page, including characters like 'あはれ' and 'あはれ'.

Handwritten text in the middle left section of the right page, including characters like 'あはれ' and 'あはれ'.



Handwritten text at the bottom right of the right page, including characters like 'あはれ' and 'あはれ'.

Handwritten text in the upper left section of the left page, including characters like 'あはれ' and 'あはれ'.

Handwritten text in the middle left section of the left page, including characters like 'あはれ' and 'あはれ'.



Handwritten text at the bottom left of the left page, including characters like 'あはれ' and 'あはれ'.

此の御成敗式目は、徳川幕府の法律を記したものである。この部分には、身分制や訴訟手続に関する規定が記されている。文字は縦書きで、右から左へと読む。



この部分には、特定の身分や職種の規定が記されている。文字は縦書きで、右から左へと読む。

この部分には、訴訟手続や罰則に関する規定が記されている。文字は縦書きで、右から左へと読む。

この部分には、身分制や訴訟手続に関する規定が記されている。文字は縦書きで、右から左へと読む。



この部分には、特定の身分や職種の規定が記されている。文字は縦書きで、右から左へと読む。



傳次郎

三



Vertical columns of handwritten Japanese text surrounding the illustration of the woman.

Horizontal columns of handwritten Japanese text at the bottom of the right page.



Vertical columns of handwritten Japanese text surrounding the illustration of the two men.

Horizontal columns of handwritten Japanese text at the bottom of the left page.

應心賀作

應心賀作の意は、心願成就の意なり。此の意は、心願成就の意なり。此の意は、心願成就の意なり。



國貞画

國貞画の意は、國貞の意なり。此の意は、國貞の意なり。此の意は、國貞の意なり。

國貞画の意は、國貞の意なり。此の意は、國貞の意なり。此の意は、國貞の意なり。

國貞画の意は、國貞の意なり。此の意は、國貞の意なり。此の意は、國貞の意なり。



獨娘聲八人出世双六

獨娘聲八人出世双六の意は、獨娘聲八人出世の意なり。此の意は、獨娘聲八人出世の意なり。此の意は、獨娘聲八人出世の意なり。

大錦 六枚継

萬事應賀作 一陽奔豊國画 屋狂齊画

樂屋壽古六

樂屋壽古六の意は、樂屋壽古六の意なり。此の意は、樂屋壽古六の意なり。此の意は、樂屋壽古六の意なり。

老ニシテ若 化粧の湯 赤極面白 色双六

美の羽衣双六

美の羽衣双六の意は、美の羽衣双六の意なり。此の意は、美の羽衣双六の意なり。此の意は、美の羽衣双六の意なり。

同作 貞房画

男女 役替壽語六

男女 役替壽語六の意は、男女 役替壽語六の意なり。此の意は、男女 役替壽語六の意なり。此の意は、男女 役替壽語六の意なり。

同作 画

武家奉公出世双六

武家奉公出世双六の意は、武家奉公出世双六の意なり。此の意は、武家奉公出世双六の意なり。此の意は、武家奉公出世双六の意なり。

同作 画

奥奉公出世双六

奥奉公出世双六の意は、奥奉公出世双六の意なり。此の意は、奥奉公出世双六の意なり。此の意は、奥奉公出世双六の意なり。

同作 画

子寶延命袋

子寶延命袋の意は、子寶延命袋の意なり。此の意は、子寶延命袋の意なり。此の意は、子寶延命袋の意なり。

同作 画

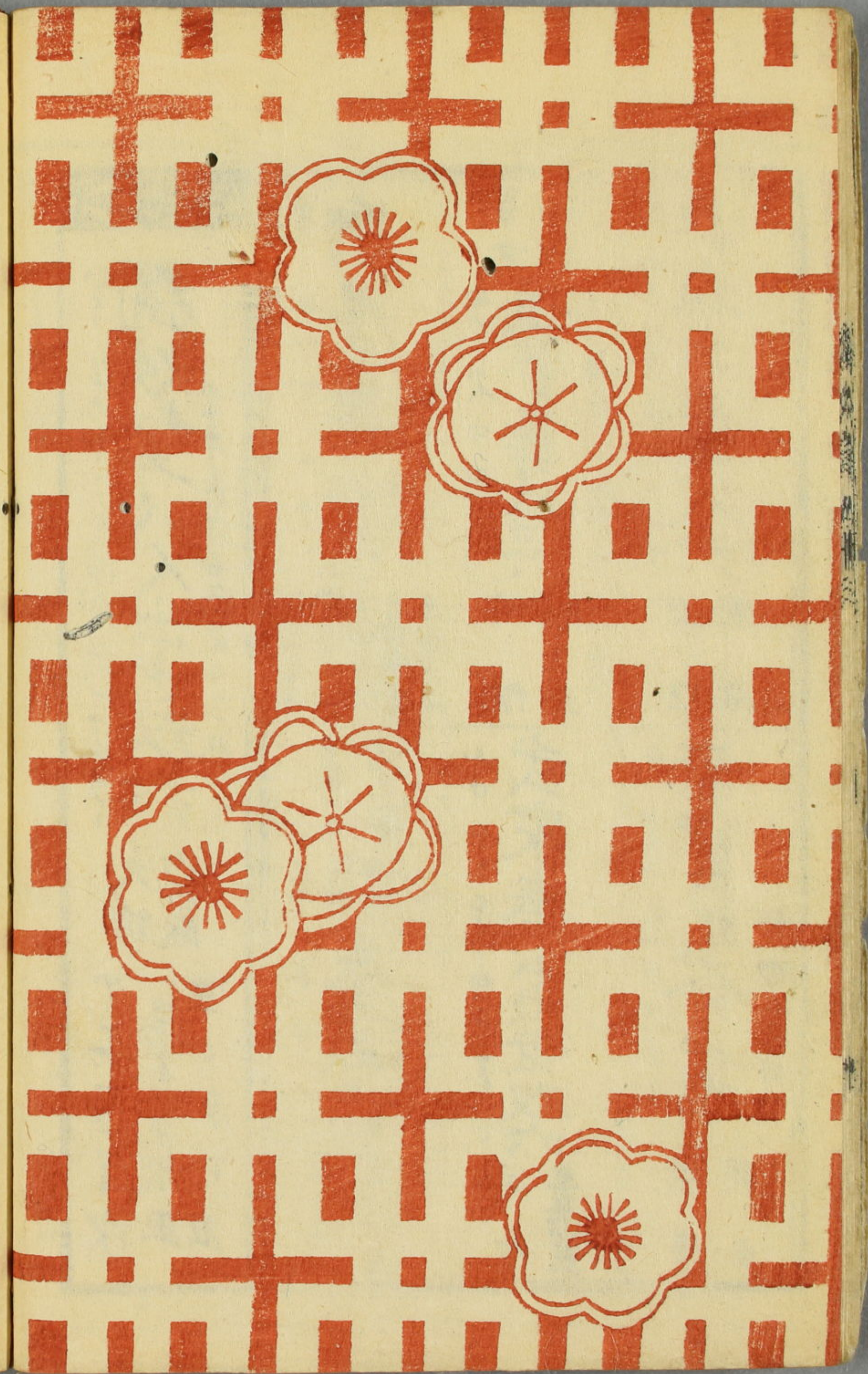
紅摺全一冊

歌川國貞画
櫻川之舟



錦之板

下





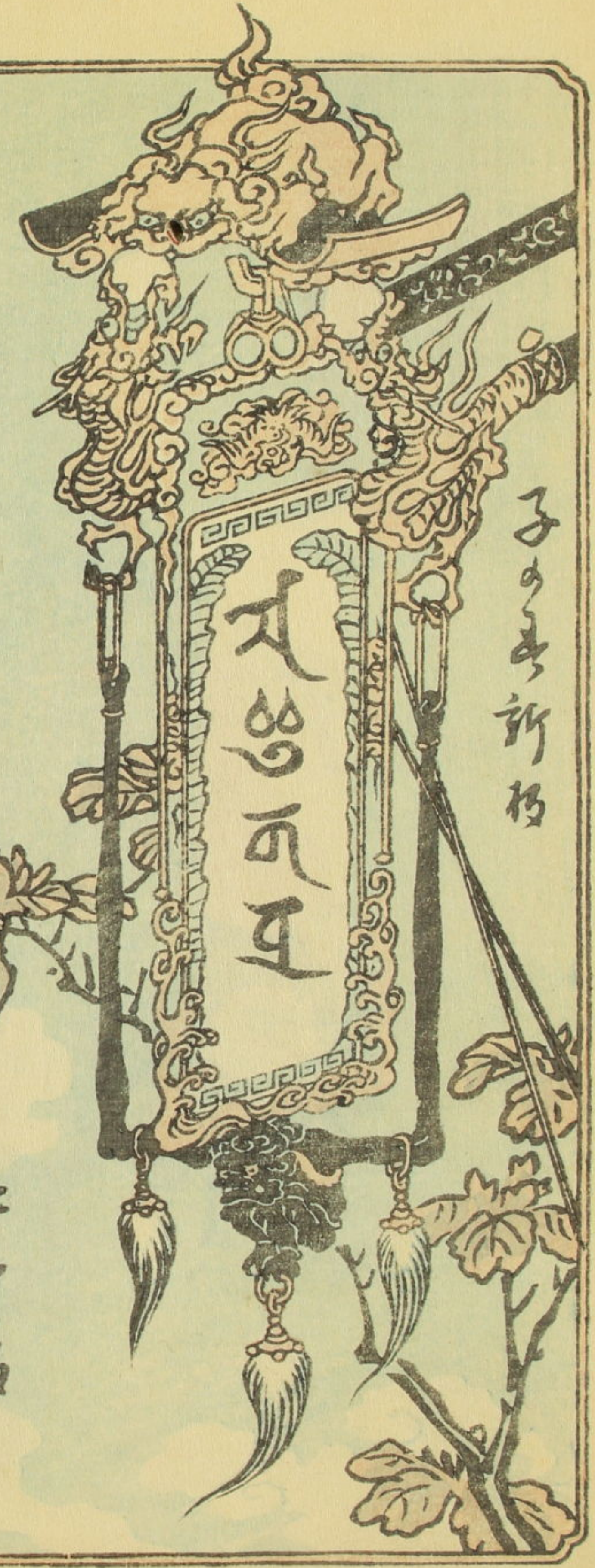
倭文庫五十三

十一

鷹明作

倭文庫 五十三編 下巻

國府 今野

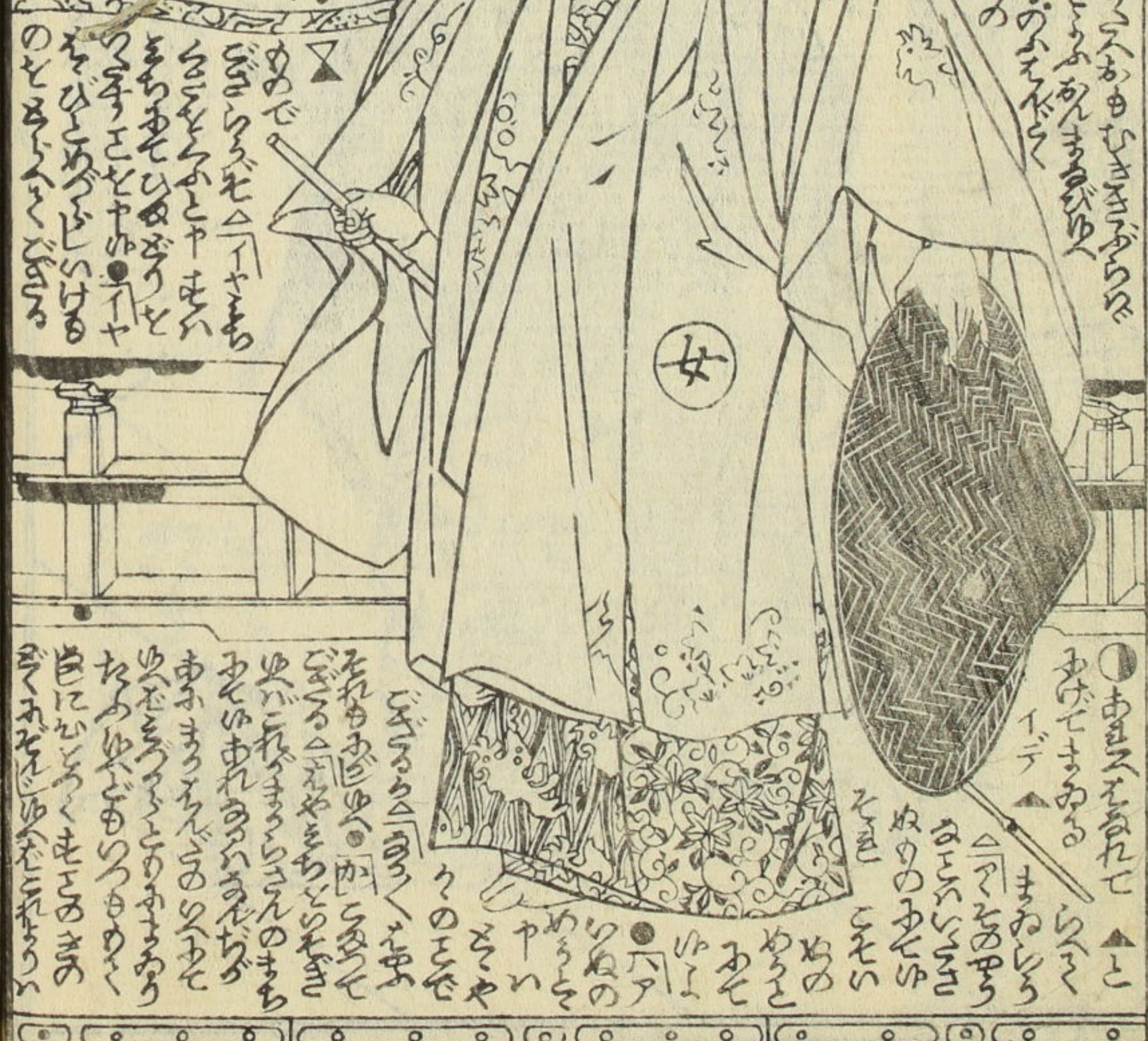


子の新編

上巻

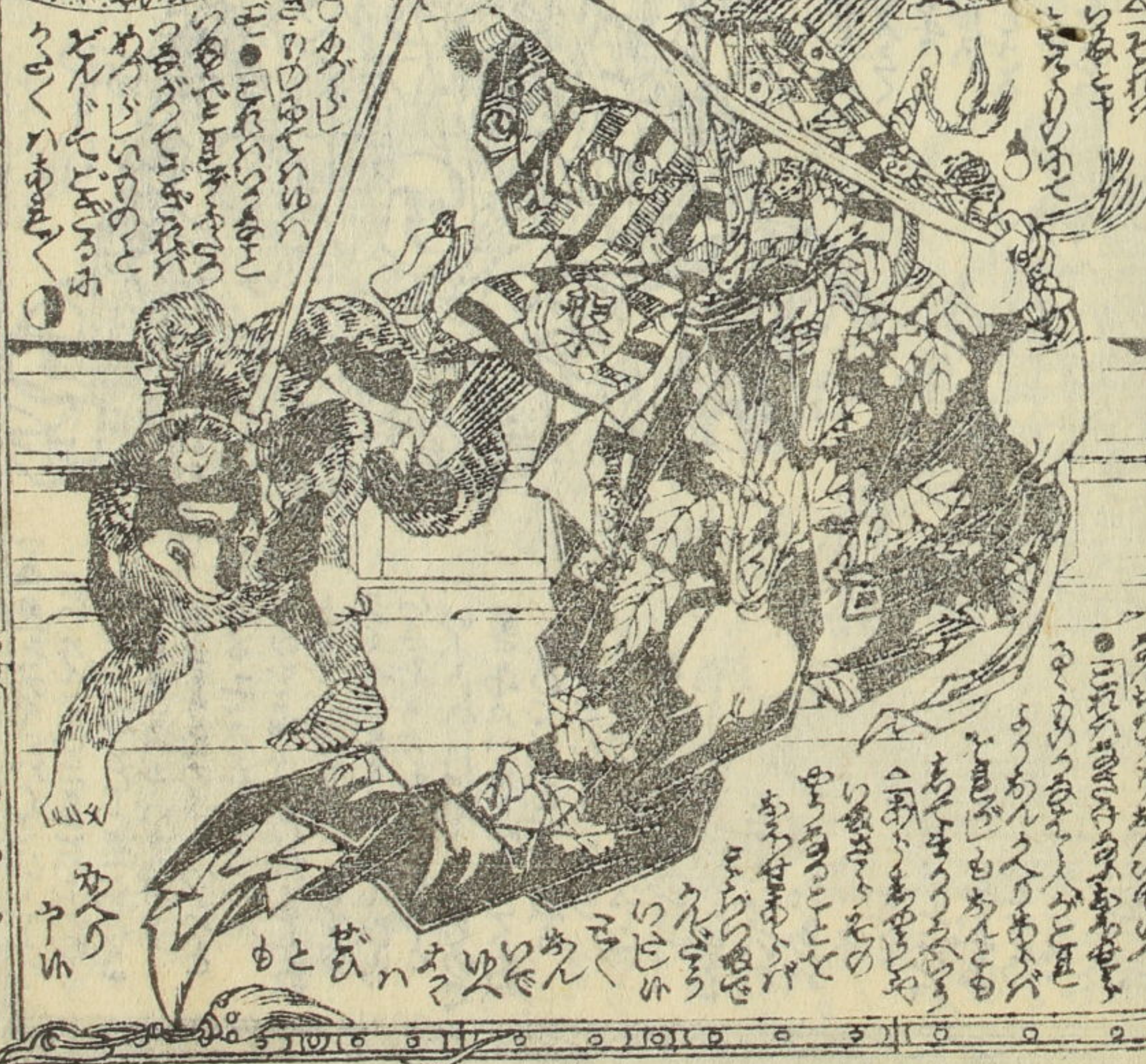
善見律小依之記ハ
摩訶般陀ハ兄弟ノ説
法華經授記品佛本行經増
阿含經補注名義集鬼奈耶
大毘婆沙論谷響集等ノ
説ニテモ其ノ中ニテ或
同名或ハ兄ト弟トト不明
ノモノトモモ

善見律小依之記ハ
摩訶般陀ハ兄弟ノ説
法華經授記品佛本行經増
阿含經補注名義集鬼奈耶
大毘婆沙論谷響集等ノ
説ニテモ其ノ中ニテ或
同名或ハ兄ト弟トト不明
ノモノトモモ



善見律小依之記ハ
摩訶般陀ハ兄弟ノ説
法華經授記品佛本行經増
阿含經補注名義集鬼奈耶
大毘婆沙論谷響集等ノ
説ニテモ其ノ中ニテ或
同名或ハ兄ト弟トト不明
ノモノトモモ

善見律小依之記ハ
摩訶般陀ハ兄弟ノ説
法華經授記品佛本行經増
阿含經補注名義集鬼奈耶
大毘婆沙論谷響集等ノ
説ニテモ其ノ中ニテ或
同名或ハ兄ト弟トト不明
ノモノトモモ



善見律小依之記ハ
摩訶般陀ハ兄弟ノ説
法華經授記品佛本行經増
阿含經補注名義集鬼奈耶
大毘婆沙論谷響集等ノ
説ニテモ其ノ中ニテ或
同名或ハ兄ト弟トト不明
ノモノトモモ

弟を小路とよみ 毘奈耶といふ
父を波羅門として 前奈の説
この大に異なる 尚般特
の愚鈍なる 過去の業

因のついでに
本起經の説と
引て後編の本文



○七○
○八○
○九○
○十○
○十一○
○十二○
○十三○
○十四○
○十五○
○十六○
○十七○
○十八○
○十九○
○二十○
○二十一○
○二十二○
○二十三○
○二十四○
○二十五○
○二十六○
○二十七○
○二十八○
○二十九○
○三十○



○三十三○
○三十四○
○三十五○
○三十六○
○三十七○
○三十八○
○三十九○
○四十○

○一○
○二○
○三○
○四○
○五○
○六○
○七○
○八○
○九○
○十○
○十一○
○十二○
○十三○
○十四○
○十五○
○十六○
○十七○
○十八○
○十九○
○二十○
○二十一○
○二十二○
○二十三○
○二十四○
○二十五○
○二十六○
○二十七○
○二十八○
○二十九○
○三十○
○三十一○
○三十二○



Handwritten text in a cursive script, likely a transcription of a speech or a list of items. The text is arranged in vertical columns, starting from the top right and moving towards the left. It includes various characters and symbols, possibly representing a specific dialect or a specialized form of Japanese writing.

Handwritten text in a cursive script, continuing the transcription from the top section. It is positioned above the illustration of the woman, providing context or commentary on the scene.



Handwritten text in a cursive script, continuing the transcription from the top section. It is positioned above the illustration of the man, providing context or commentary on the scene.

Handwritten text in a cursive script, continuing the transcription from the top section. It is positioned above the illustration of the man, providing context or commentary on the scene.



四段

Handwritten text in the upper right section, likely a stage direction or dialogue. The text is written in a cursive style and includes various characters and symbols.



Handwritten text in the upper left section, continuing the dialogue or stage directions. The text is dense and written in a cursive style.





大目 ■ [unreadable]

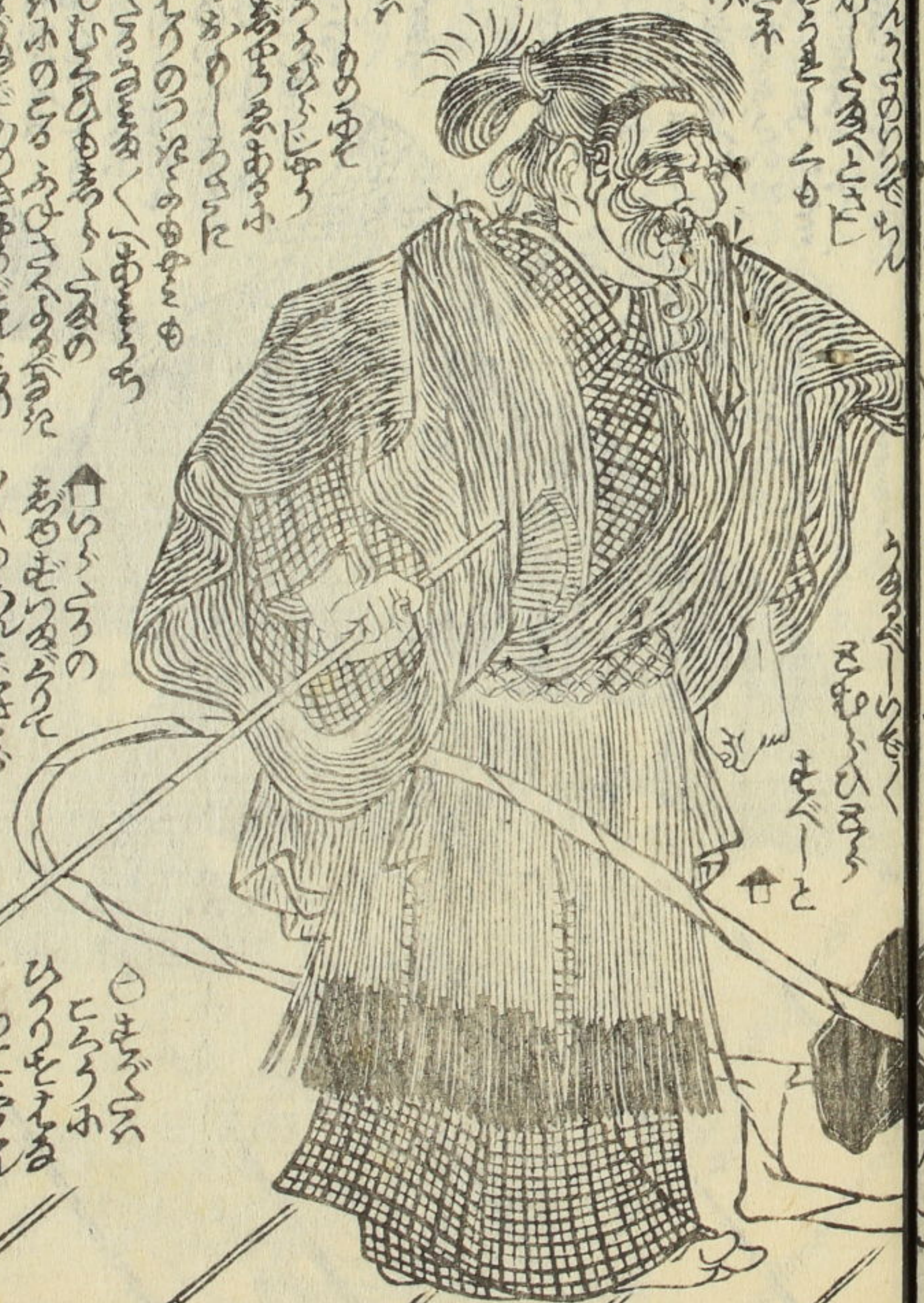
[unreadable text]



[unreadable text]

[unreadable text]

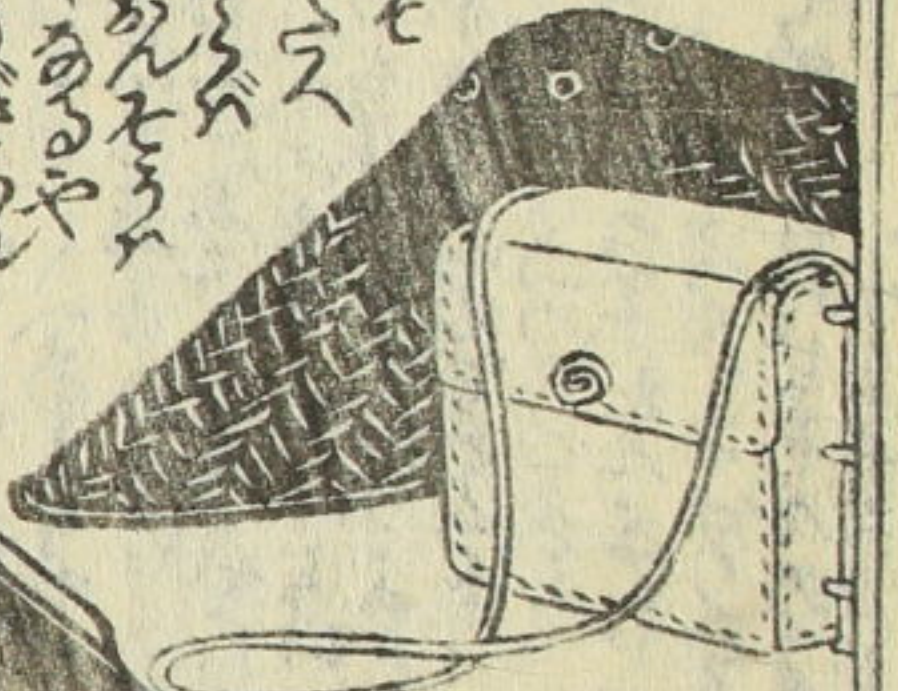
[unreadable text]



[unreadable text]

七段

Handwritten text in a cursive script, likely a transcription of a play script, located at the top of the right page.



Handwritten text annotations surrounding the woman's illustration, possibly describing her role or the items she is wearing.

Handwritten text in a cursive script, likely a transcription of a play script, located at the top of the left page.



Handwritten text annotations surrounding the man's illustration, possibly describing his role or the items he is holding.

Handwritten text at the bottom of the left page, including a signature and possibly a date or location.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical or scientific record, located at the top of the right page.



Handwritten text in a cursive script, located at the top of the left page, continuing the narrative or record from the right page.



元二乙丑春新出版目錄

倭文庫

五十二編 萬亭應賀作
五十三編 壽齋國貞画

新編朝日譚

初編 柳亭種彦作
五編 一惠齋芳幾画

重井菱次別小紋

八編 大尾
沙多みゆの 五編 大尾
同画

常磐石津懷中本

初編 二本 小本
三編 四編 あり後上り

重繪草紙本類問屋

人形町 上州 屋重藏板



萬亭應賀作 惺々狂癡画圖

この書の出来は... 万亭の作...
 万亭の作... 万亭の作...
 万亭の作... 万亭の作...

〇〇〇〇の
 万亭の作... 万亭の作...
 万亭の作... 万亭の作...

倭文庫 五十三編

二十



倭文庫五拾四編

錦重堂梓



集料

書物あやかしの湖うみの

深ふかさを去さ法ほう

一あまたる桐きりりあせ

塔たかせ少すくく

ううりしれはあま

書物しよぶつの表ひら紙しせり

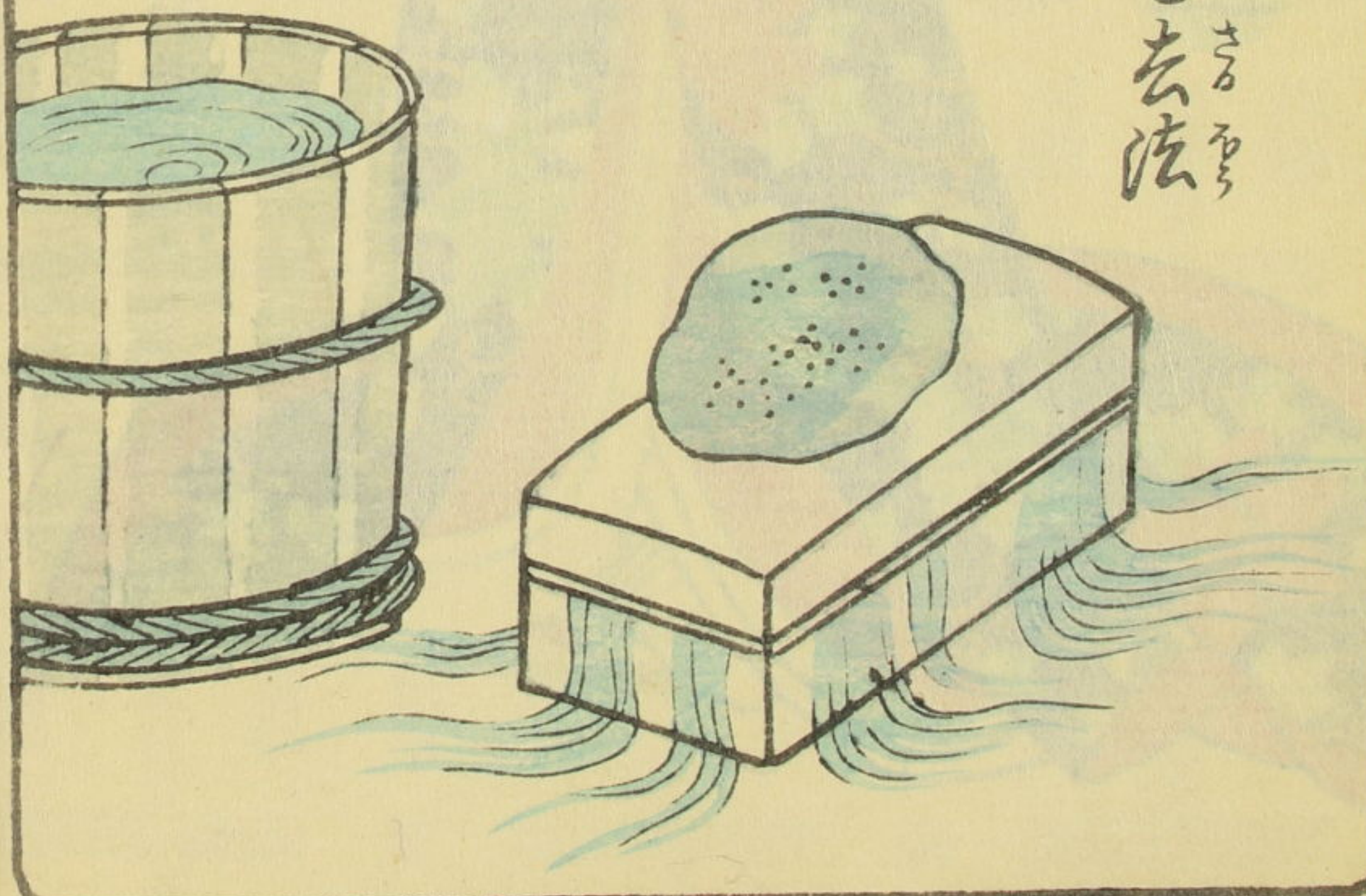
そはあまひ

遊あそび

上う下げちりメあま

あせ志しがりく

のち打うちむん



釋如八相倭文庫第五十四編序

此世界の衆生が豆小働ハ彼岸の豆煎り知去ハ堅き豆を嚼ハ
神よ陽あり嚙て解ハ是佛よ陰あり其和きに原づいて老少
の菡ふ合をい堅き豆を除むあうぬ豆ハ小豆の無も異名ハ故
煎種中へ梵說筆豆を法録小書校て既に阿鼻の黒焦とある亀
茲國ハ惡毒王と茲ハ北天の王小擬ハ妙法蓮華經の三僧と南無
歸命頂禮と做と更ハ芳き甘味もよく翻て半煎ハ腥ハつくと
一茶宛穿らば一夕の茶らち小唯一抗ハ吞込ハ腹の中あてフツくと
佛めくとも可有也

慶應三寅春

万高應加貝速

萬葉集卷之四



北天竺毘舍離國
 惡毒王字妙文
 唱功德水依
 五逆十惡乃
 大罪を免る





大蔵六十一

一



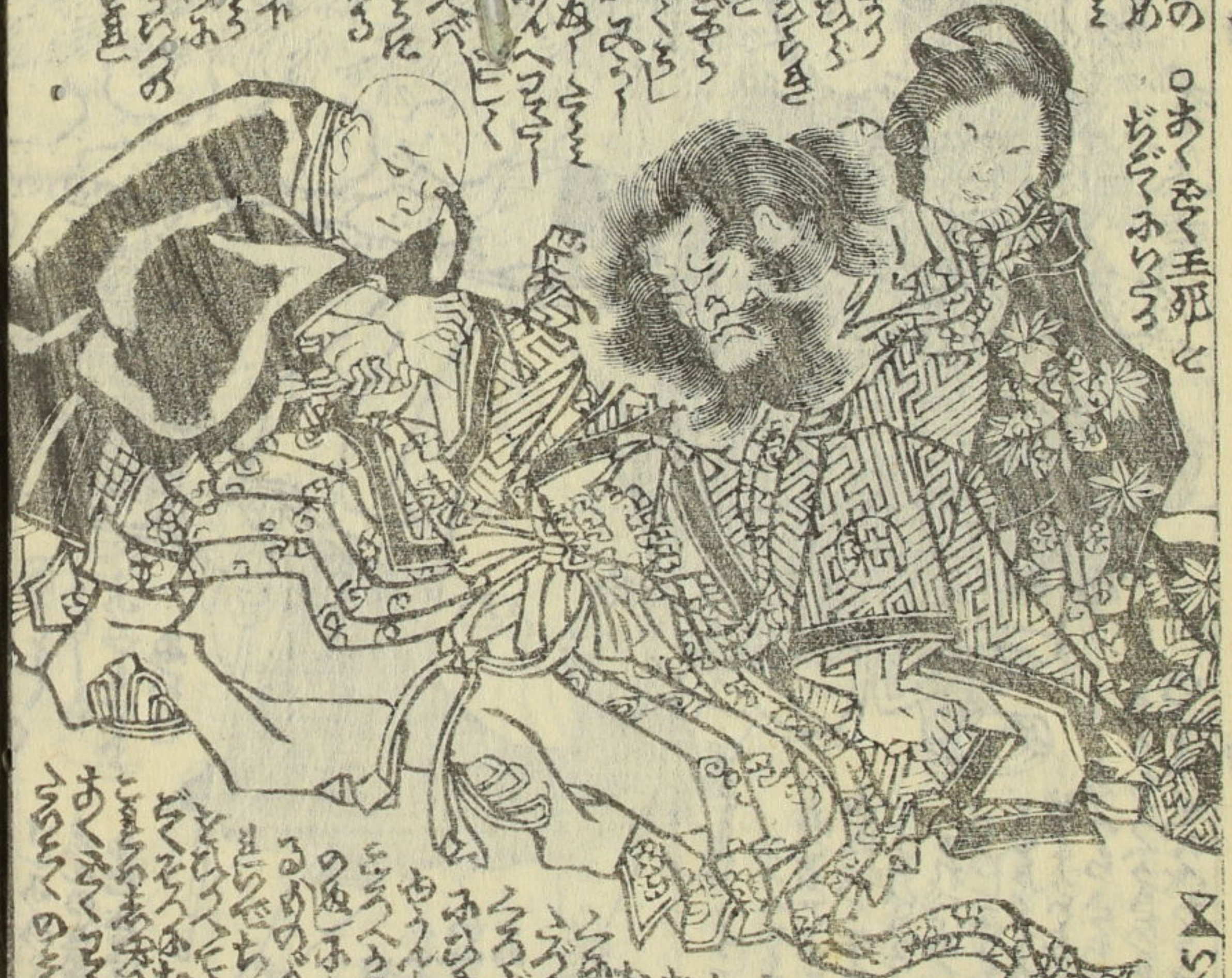
長者
の一人娘
如是姫

羅羅 尊者 月蓋 大銘 托家

大蔵六十一

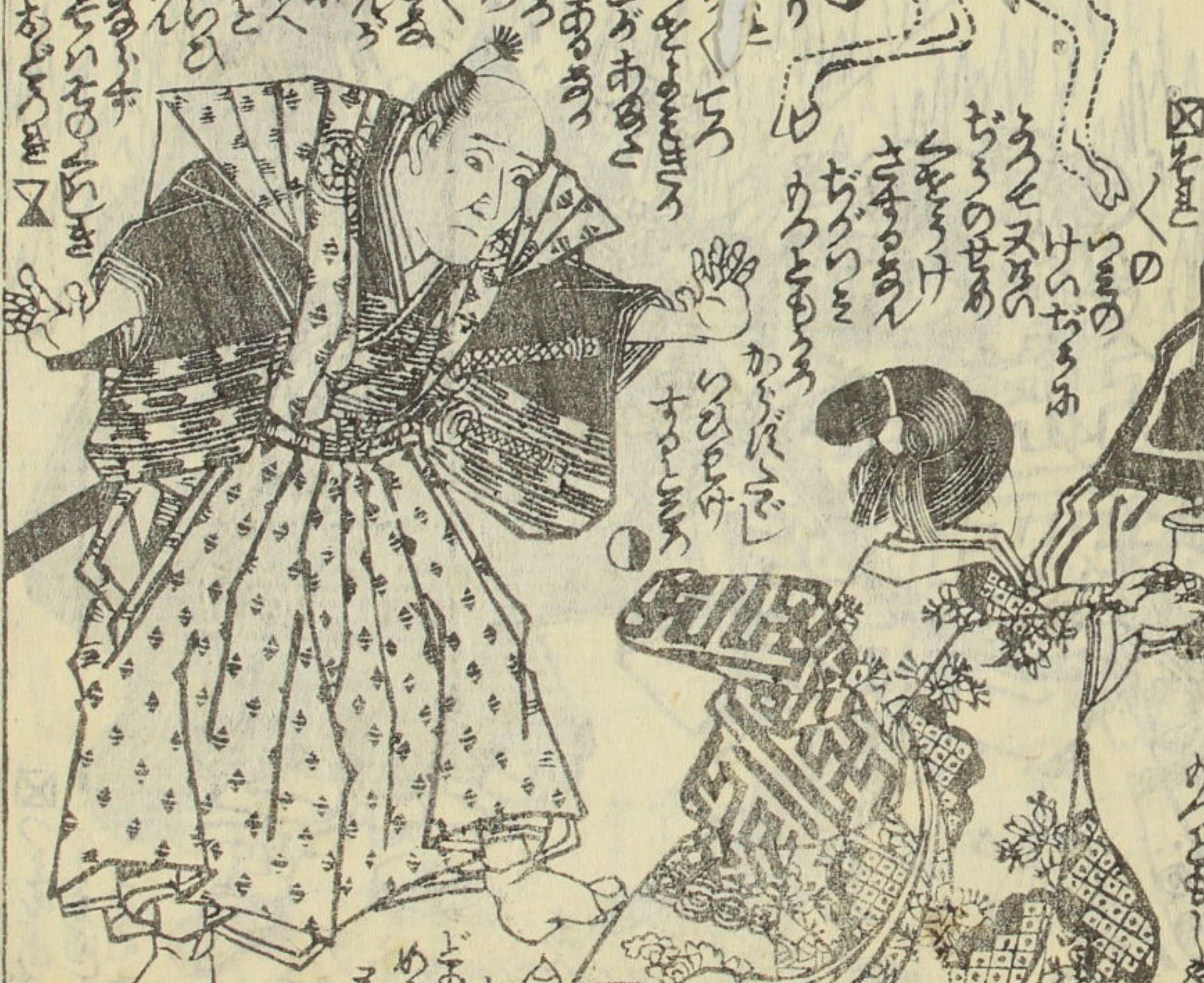


Handwritten text in the upper right section of the right page, written vertically in Japanese characters.



Handwritten text in the lower right section of the right page, written vertically in Japanese characters.

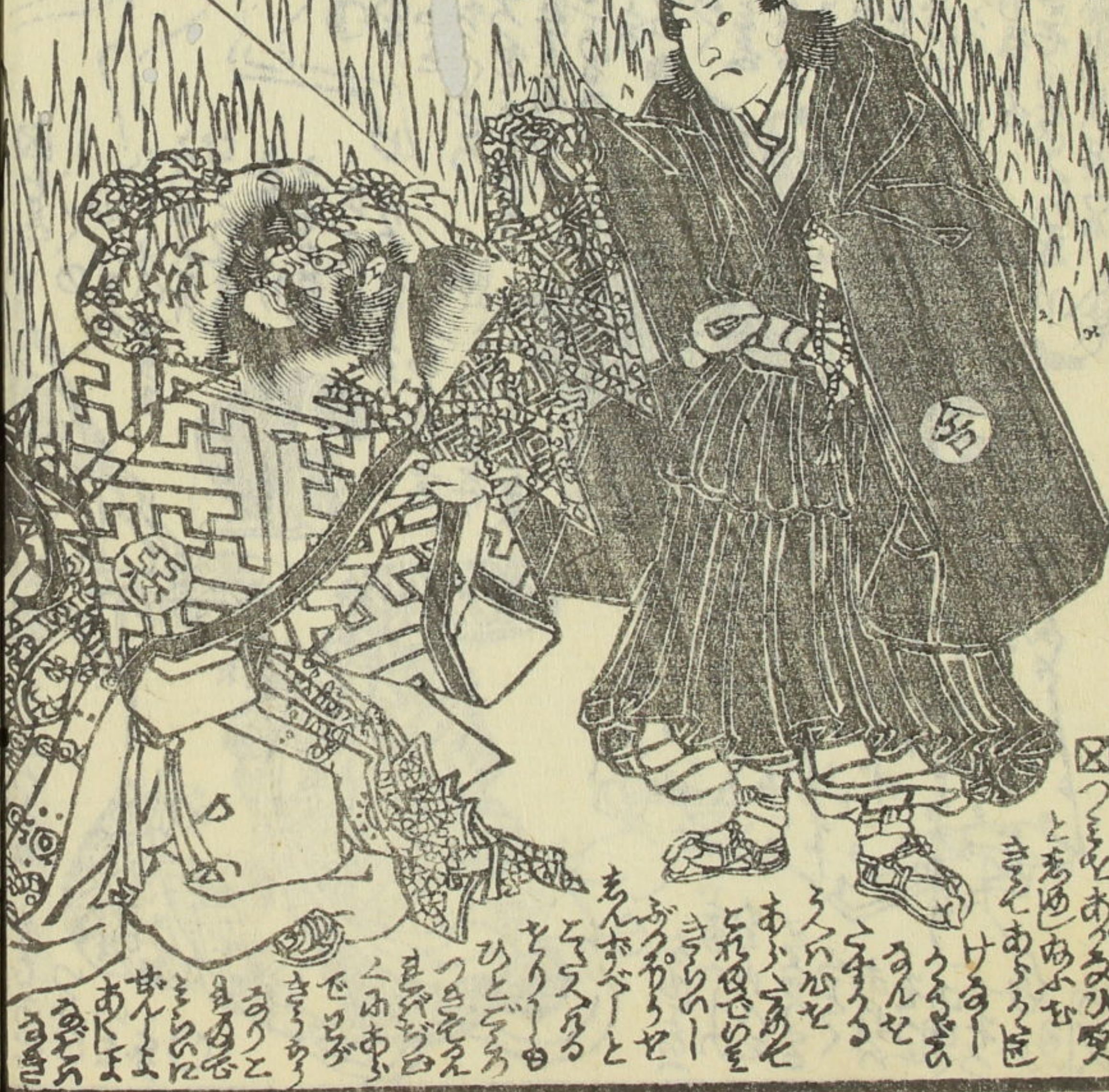
Handwritten text in the upper left section of the left page, written vertically in Japanese characters.



Handwritten text in the lower left section of the left page, written vertically in Japanese characters.

おんあはせのあらはれし
あはせのあらはれし
あはせのあらはれし
あはせのあらはれし
あはせのあらはれし
あはせのあらはれし
あはせのあらはれし
あはせのあらはれし

あはせのあらはれし
あはせのあらはれし
あはせのあらはれし
あはせのあらはれし
あはせのあらはれし
あはせのあらはれし
あはせのあらはれし
あはせのあらはれし



五

あはせのあらはれし
あはせのあらはれし
あはせのあらはれし
あはせのあらはれし
あはせのあらはれし
あはせのあらはれし
あはせのあらはれし
あはせのあらはれし

あはせのあらはれし
あはせのあらはれし
あはせのあらはれし
あはせのあらはれし
あはせのあらはれし
あはせのあらはれし
あはせのあらはれし
あはせのあらはれし

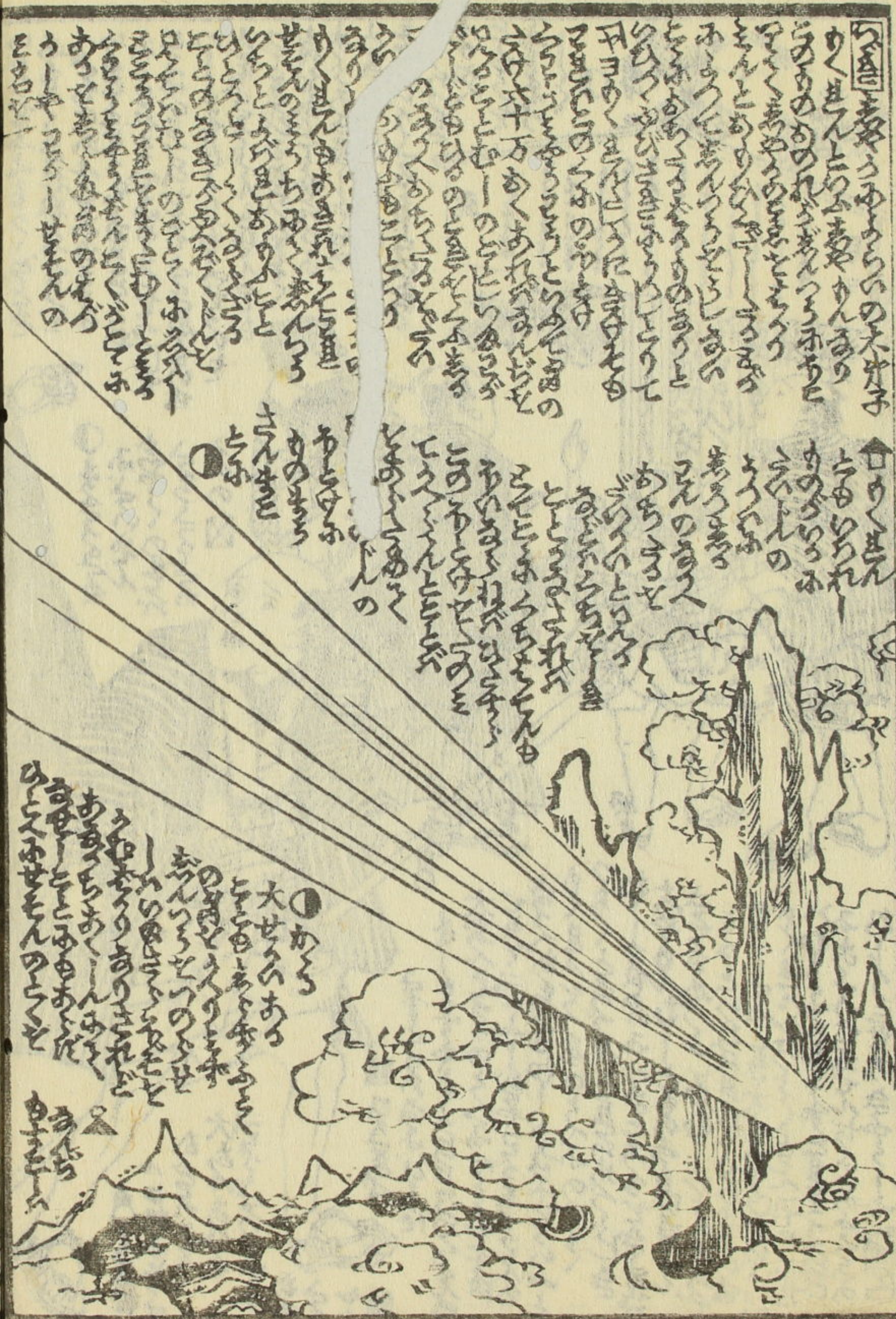


あはせのあらはれし
あはせのあらはれし
あはせのあらはれし
あはせのあらはれし
あはせのあらはれし
あはせのあらはれし
あはせのあらはれし
あはせのあらはれし

あはせのあらはれし
あはせのあらはれし
あはせのあらはれし
あはせのあらはれし
あはせのあらはれし
あはせのあらはれし
あはせのあらはれし
あはせのあらはれし

あはせのあらはれし
あはせのあらはれし
あはせのあらはれし
あはせのあらはれし
あはせのあらはれし
あはせのあらはれし
あはせのあらはれし
あはせのあらはれし

五



Handwritten text in the upper right section of the page, written in a vertical column. The characters are in a cursive style, likely representing a specific dialect or a particular form of Japanese script.

Handwritten text in the lower right section of the page, continuing the vertical column from the upper section. It includes some larger characters and possibly a section header or a specific note.



Handwritten text in the upper left section of the page, positioned above the illustration. It includes a small square box containing the character '木' (tree) and other vertical text.

Handwritten text in the lower left section of the page, positioned below the illustration. It continues the vertical column of text from the upper section.

あひまねねんてせの
くくくあひまねんてせの
あひまねんてせの
あひまねんてせの
あひまねんてせの
あひまねんてせの
あひまねんてせの
あひまねんてせの
あひまねんてせの
あひまねんてせの



万亭應賀作歌川貞画

獨娘聲八人出世双六

香土 美根 板面 白

大 秋 建 在 齋 画

屋書士

化 各 台

美 色 乃 奉 双 六

同 作 貞 房 画

後替壽語六

同 司 里 作

武家奉公出世双六

同 作

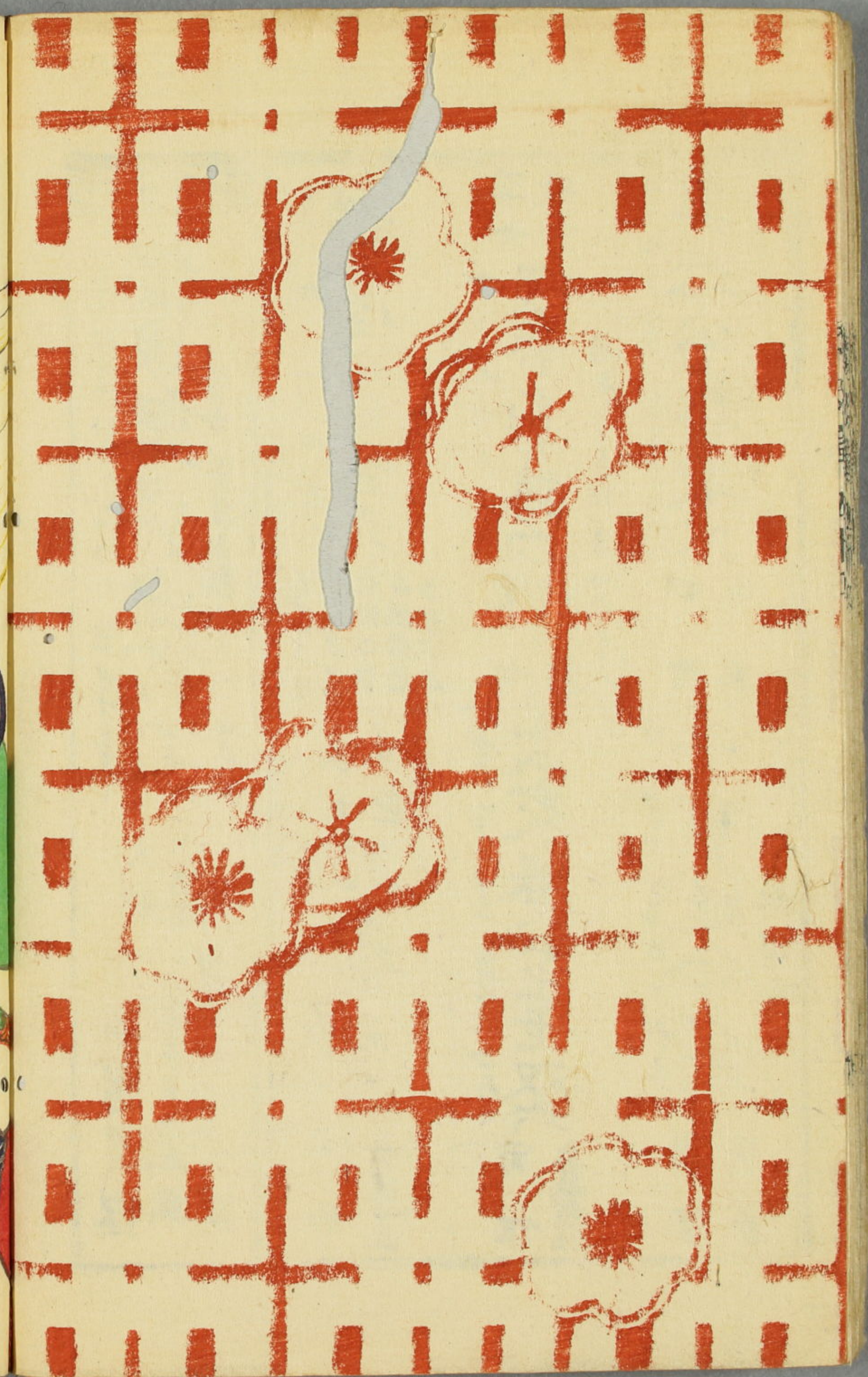
奥奉公出世双六

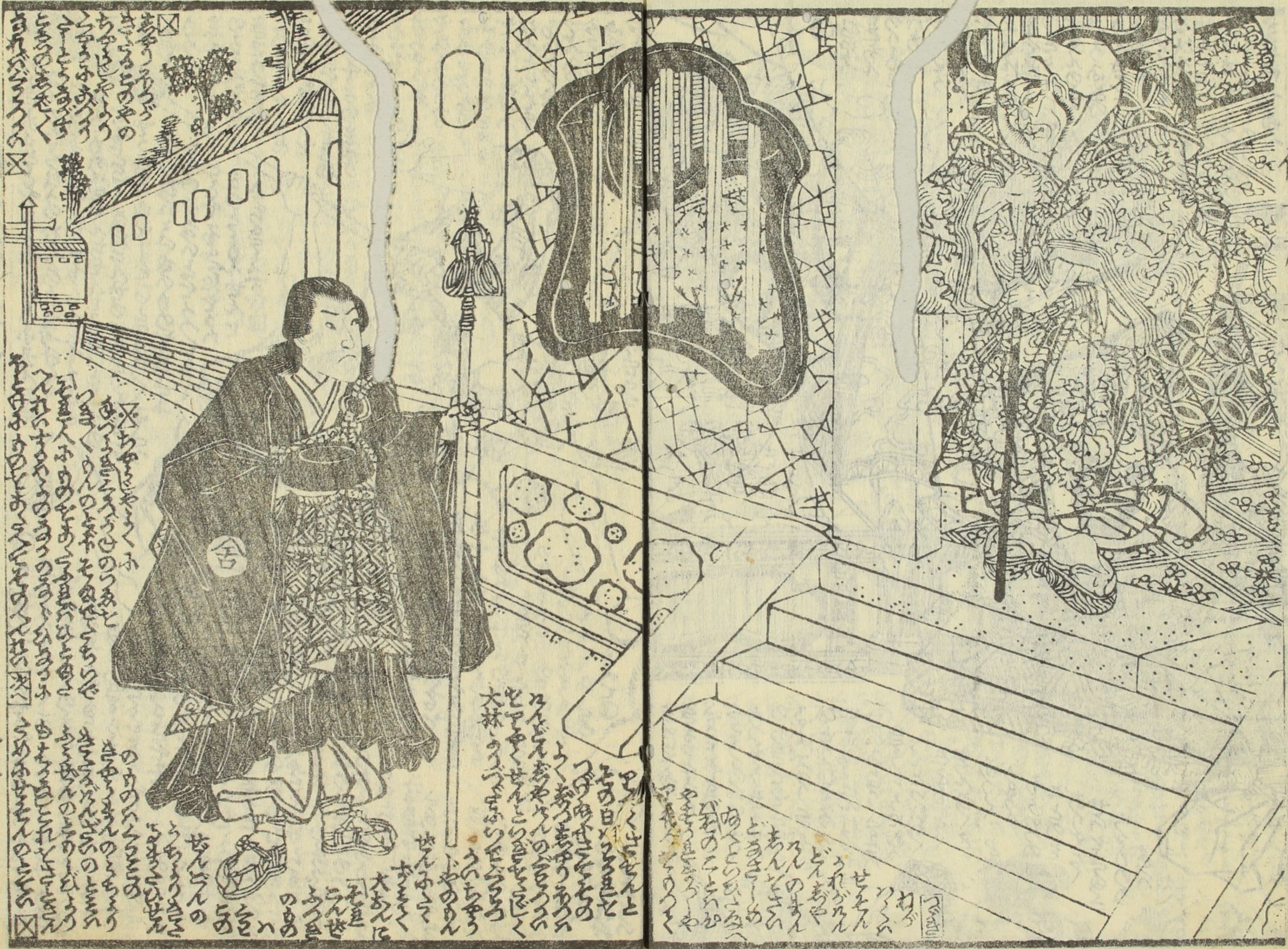
同 司 里 作

子寶延命袋

同 作

万亭應賀作
歌川國貞画





四

あつちのうらやまの
あつちのうらやまの
あつちのうらやまの
あつちのうらやまの
あつちのうらやまの

あつちのうらやまの
あつちのうらやまの
あつちのうらやまの
あつちのうらやまの
あつちのうらやまの

あつちのうらやまの
あつちのうらやまの
あつちのうらやまの
あつちのうらやまの
あつちのうらやまの

あつちのうらやまの
あつちのうらやまの
あつちのうらやまの
あつちのうらやまの
あつちのうらやまの

あつちのうらやまの
あつちのうらやまの
あつちのうらやまの
あつちのうらやまの
あつちのうらやまの

あつちのうらやまの
あつちのうらやまの
あつちのうらやまの
あつちのうらやまの
あつちのうらやまの

五

此圖所繪者乃一僧人與一俗人相爭之狀
 俗人手持一杖，僧人則以手相抗，其狀
 甚為激烈。此圖之旁，有經文數段，其
 文曰：

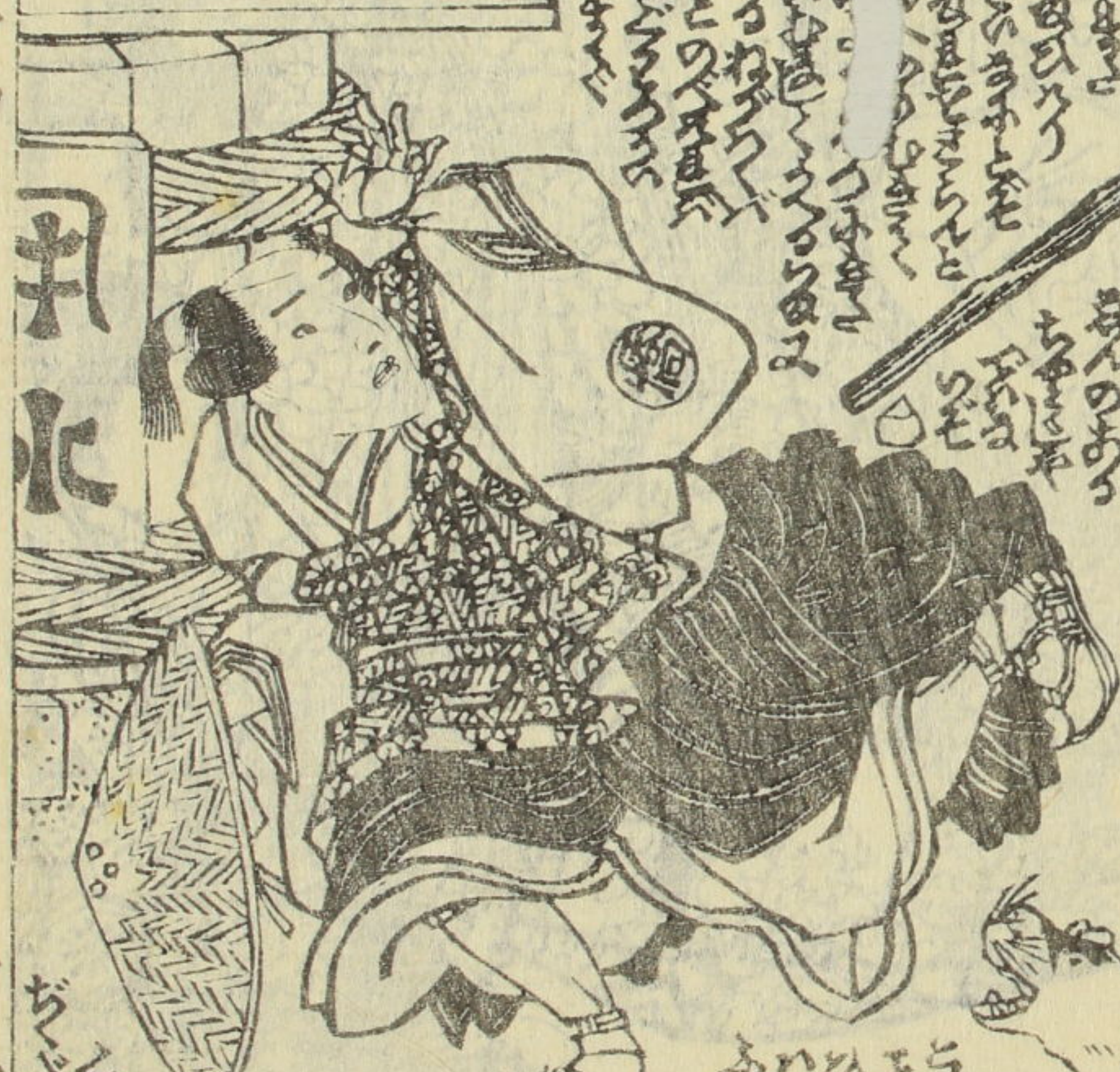
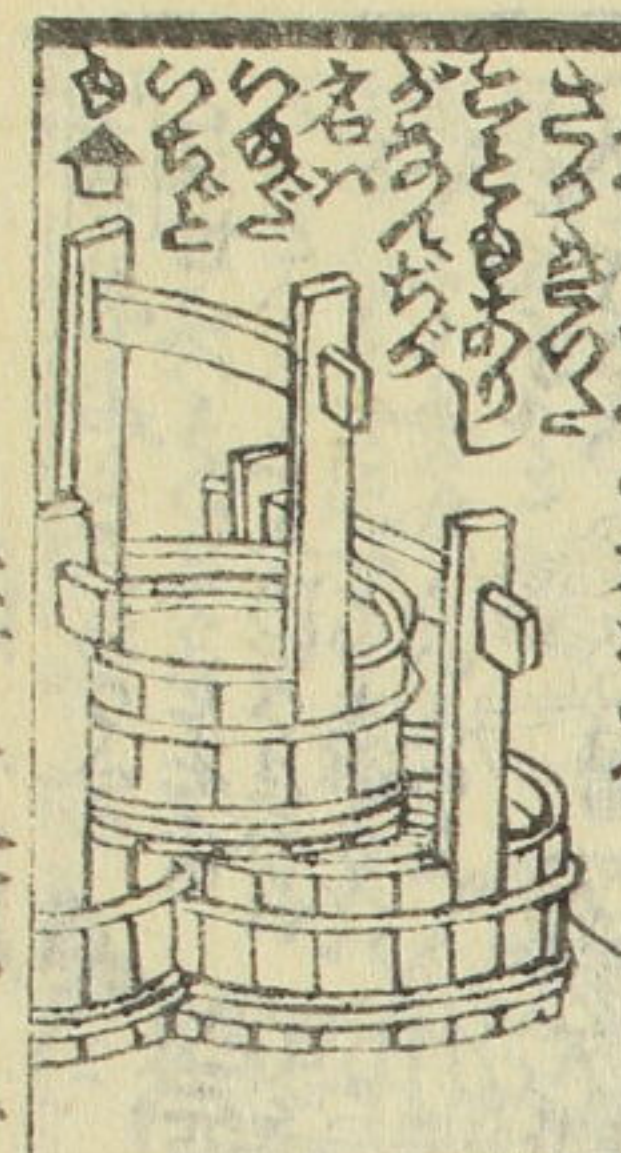
此圖所繪者乃一僧人與一俗人相爭之狀
 俗人手持一杖，僧人則以手相抗，其狀
 甚為激烈。此圖之旁，有經文數段，其
 文曰：

此圖所繪者乃一僧人與一俗人相爭之狀
 俗人手持一杖，僧人則以手相抗，其狀
 甚為激烈。此圖之旁，有經文數段，其
 文曰：

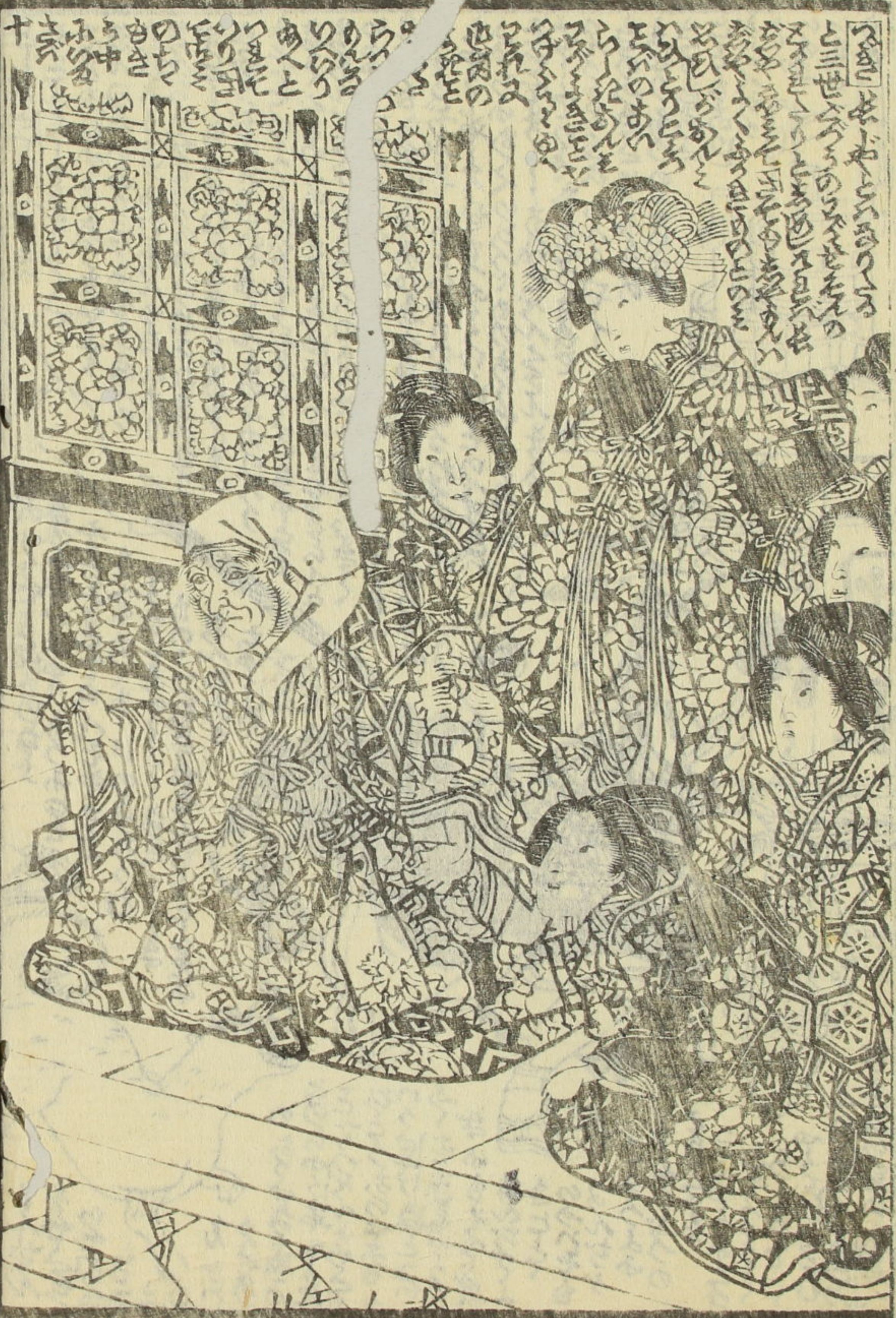
此圖所繪者乃一僧人與一俗人相爭之狀
 俗人手持一杖，僧人則以手相抗，其狀
 甚為激烈。此圖之旁，有經文數段，其
 文曰：

此圖所繪者乃一僧人與一俗人相爭之狀
 俗人手持一杖，僧人則以手相抗，其狀
 甚為激烈。此圖之旁，有經文數段，其
 文曰：

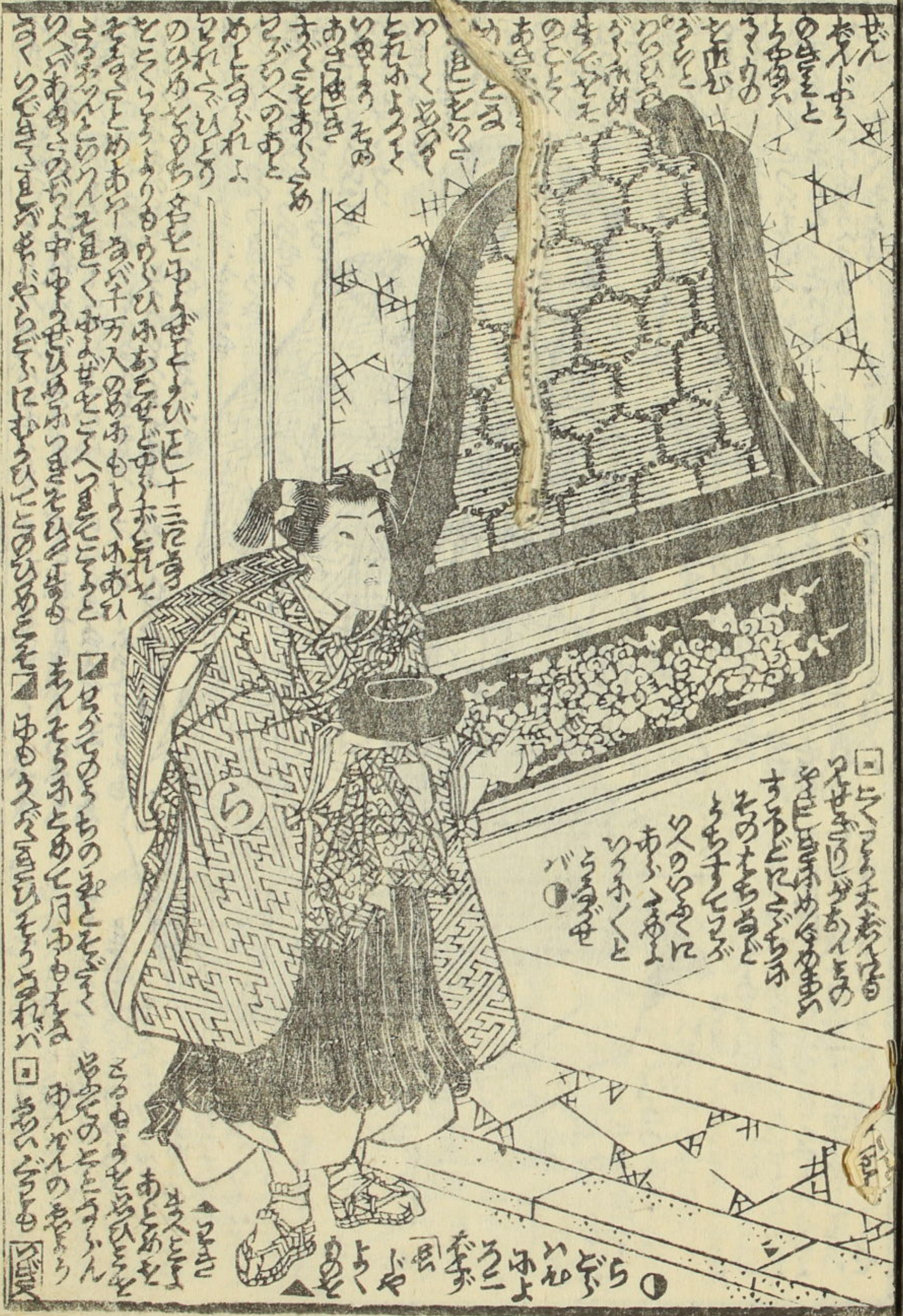
此圖所繪者乃一僧人與一俗人相爭之狀
 俗人手持一杖，僧人則以手相抗，其狀
 甚為激烈。此圖之旁，有經文數段，其
 文曰：



此圖所繪者乃一僧人與一俗人相爭之狀
 俗人手持一杖，僧人則以手相抗，其狀
 甚為激烈。此圖之旁，有經文數段，其
 文曰：



徳川御紀 五十四
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十



徳川御紀 五十四
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十

徳川御紀 五十四

三十一

徳川御紀 五十四
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十

倭文庫

五十二編 万亭應賀作
五十三編 五十四編 一壽齋國貞画

新編朝日譚

初編 柳亭種彦作
五編 一惠齋芳幾画

重井菱染別小紋

八編 十返舎一九作
大尾 同 五編 大尾

常磐津懐中本

初編 二編 柳亭種彦作
三編 四編 芳幾画

重繪草紙本頼問屋

人形町 上州屋重藏板

万亭應賀著 一壽齋國貞画

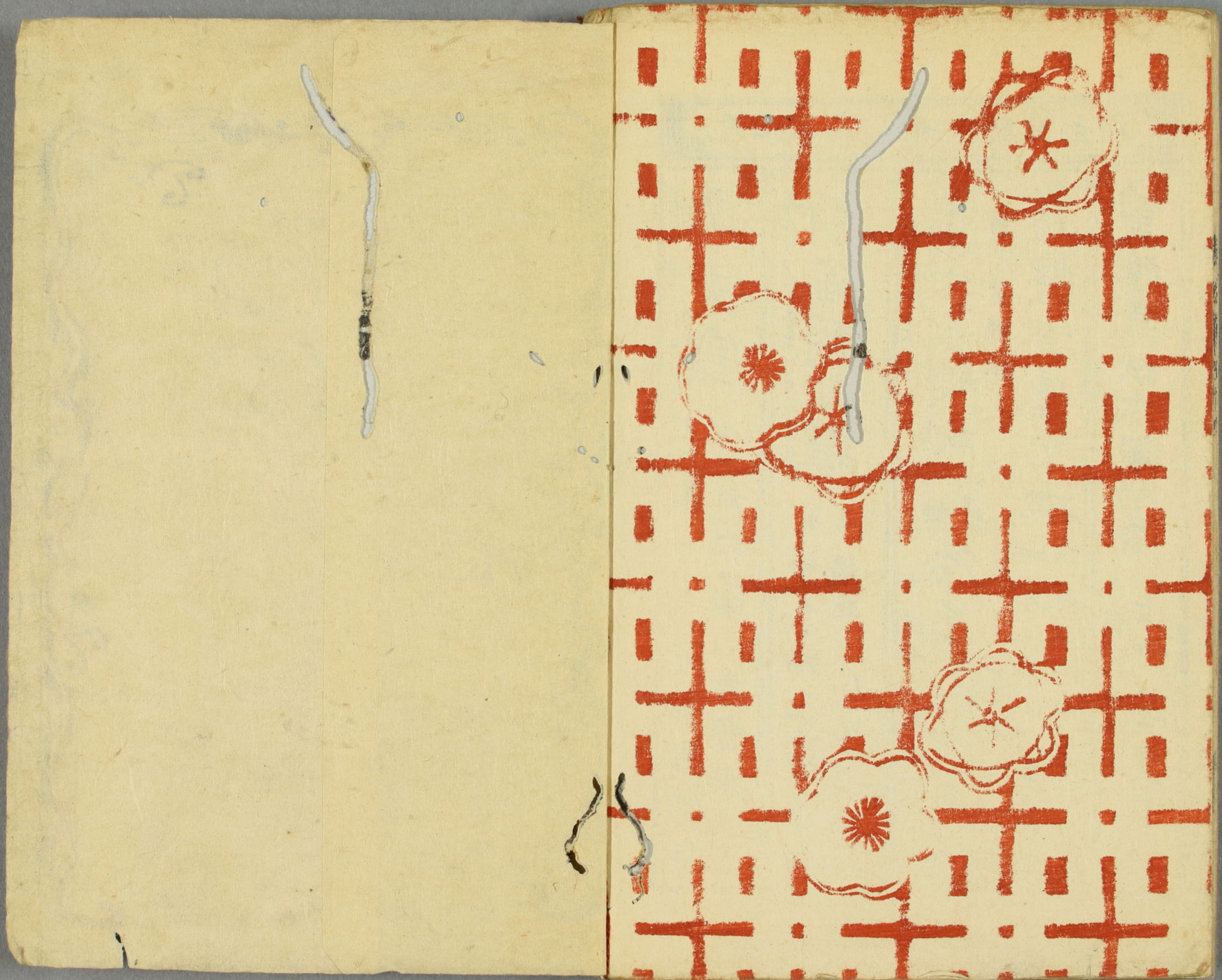
生年... 万亭應賀... 一壽齋國貞...

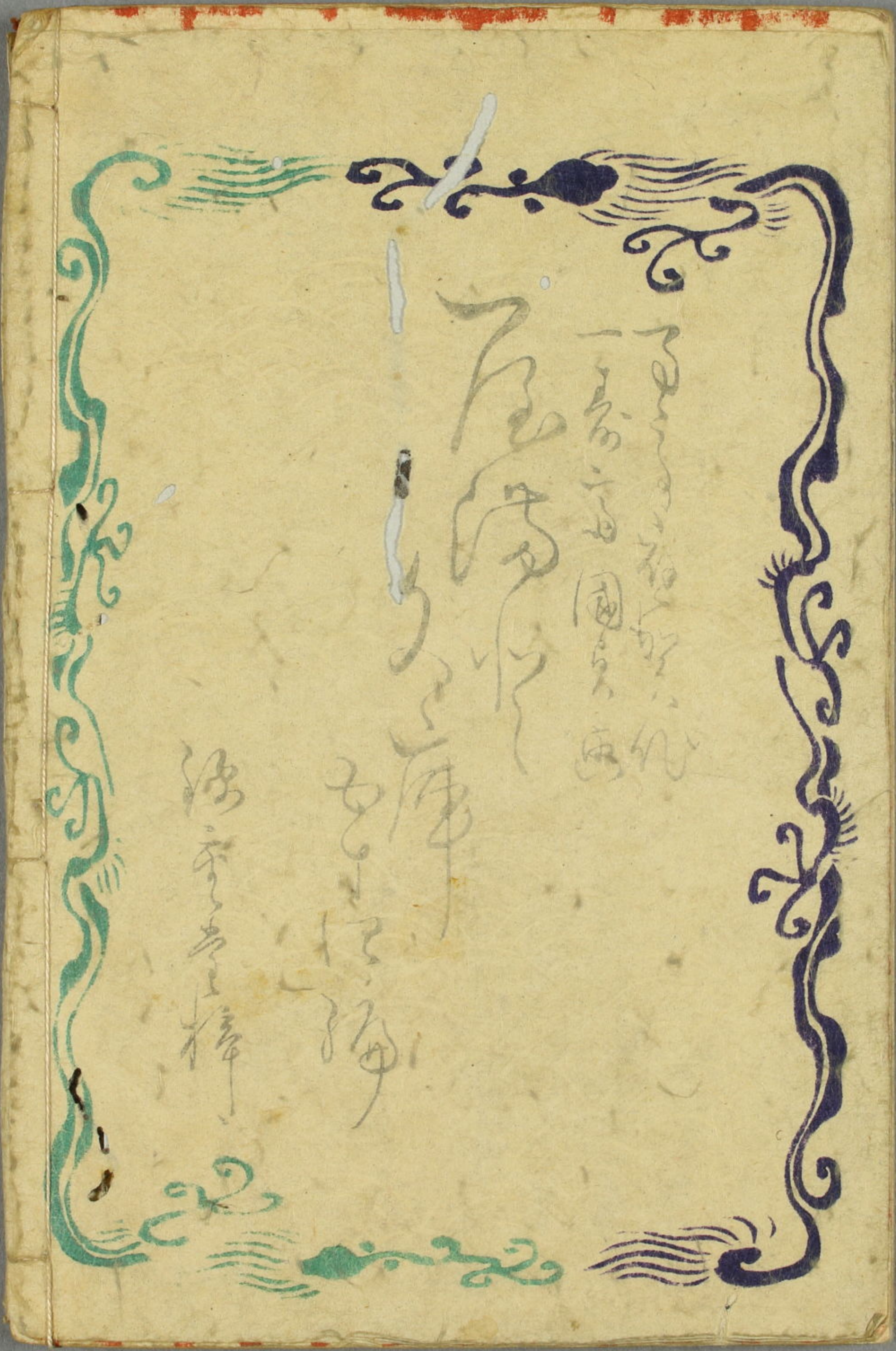
万亭應賀... 一壽齋國貞... 柳亭種彦...



あつちのあつちの... 万亭應賀... 一壽齋國貞...

あつちのあつちの... 万亭應賀... 一壽齋國貞...





بسم الله الرحمن الرحيم
الحمد لله رب العالمين
والصلاة والسلام على
سيدنا محمد وآله الطيبين
الطاهرين

الحمد لله رب العالمين
والصلاة والسلام على
سيدنا محمد وآله الطيبين
الطاهرين

الحمد لله رب العالمين
والصلاة والسلام على
سيدنا محمد وآله الطيبين
الطاهرين